



鴨川まち歩きマップ

ラグステInfo Lagrin-station information ver.3



Lagrange meets KAMOOGAWA

©ラグランジェ・プロジェクト

Access to KAMOOGAWA



【電車でのアクセス】
東京駅から特急「わかしお」号で2時間ほど。東京駅・京葉線ホームから発着します。安房鴨川駅は内房線と外房線それぞれの終着駅になります。キリウスたちが降り立ったのは東口です。

【高速バス】
東京～安房鴨川間を2時間ほど。浜松町バスターミナルと東京駅八重洲口から安房鴨川行バス「アクシー号」も運行しています。東京湾アクアライン～木更津金田バスターミナルを経由します。

【自動車でのアクセス】
自動車なら東京湾アクアライン経由で90分ほど。君津ICで降りたら突き当りを左へ進み、「東粟倉」信号にて左折します。房総スカイラインから鴨川有料道路へ。鴨川有料道路を降りたら10分ほどで市街地へと入ります。

【東京湾フェリー】
横須賀市久里浜港から富津市金谷港まで35分ほどの海の旅。東京湾横断フェリーでのクルージングも楽しめます

facebook 鴨川ポータルサイト <http://kamonavi.jp>

【発行】 城西国際大学
【製作】 城西国際大学観光学部観光プロジェクトチーム
【協力】 輪廻のラグランジェ鴨川推進委員会
【監修】 ラグランジェ・プロジェクト

輪廻のラグランジェ Flower declaration of your heart



【シャッターアート】
アニメのなかでも登場する通称マリンロードにあるシャッターをキャンパスに！三人のチビキャラがあなたを出迎えてくれます。



【思い出ノート】
魚見塚展望台（誓いの丘）に設置されたノート。このノートにはラグリンファンの“アツい思い”がつづられています。



【タイムカプセル・記念植樹】
一戦場スポーツ公園で行なわれたイベント「2032年への誓い（メモリア）」では記念の植樹と2032年の再会を約束してタイムカプセルが埋められました。



【ラグ★ステ】
ラグリンステーションは、ラグリン好きが訪れる鴨川の拠点です。レアグッズもあるかも！

『輪廻のラグランジェ』に登場した鴨川の名所



魚見塚展望台



鴨川松島



前原海岸



大山千枚田



仁右衛門島



鴨川シーワールド

season1の第1話、第12話、season2の第7話などに登場したラグランジェを象徴する場。かつて漁師たちが沖合いにくる魚の群れを見張っていたことから「魚見塚」という。シンボルの女神像「暁風」の下からは太平洋や鴨川市街が一望できます。水平線から昇る朝日や夕暮れ時、夜景の美しさはまさに絶景です。

season1の第7話、まどか達3人の友情が深まるシーンに登場した鴨川松島は、新日本百景にも選ばれた隠れた名所。大小7つの島々が浮かぶ姿は本家松島を彷彿とさせ、松の緑と透き通るような海、白波とのコントラストは外房随一です。

season1の第1話から幾度となく登場する前原海岸。まどか達の“庭”ともいえる海岸は、砂浜がとても広く遊泳に適しており、日本の渚百選にも選出されています。また、日本の現代サーフィン発祥の地の1つとも言われ、多くのサーフショップなどがあります。

season2の第8話に登場した「棚田の夜祭り」。舞台となった大山千枚田は東京から最も近い棚田と知られています。この千枚田の特徴は日本で唯一雨水のみで耕作を行っているという点です。この景勝地を利用したグリーンツーリズムも人気があります。

season2の第9話、まどかたちのクリスマスシーンに登場。仁右衛門島は鴨川太海地区にぽつんと浮かぶ小さな島。手こぎニ丁船舟での渡船は歴史的雰囲気たっぷり。エメラルドグリーン色の海は必見です。

ランといえば“鴨川シーワールド”。season1の第8話などに登場。かわいいシャチの赤ちゃんも生まれ、ますます人気のシャチショーやイルカショーは圧巻です。夏に開催される夜の水族館探検「ナイトアドベンチャー」も一見の価値あり！

～『輪廻のラグランジェ』あらすじ～

房総半島の南端部に位置する鴨川市。この都市が宇宙を揺るがす戦いに巻き込まれる。鴨川出身の女子高生まどかと、宇宙からやってきた二人の少女ランとムギナミ。3人の少女が「輪廻」の運命に立ち向かう。

Lagrange meets KAMOOGAWA



鴨川観光協会

ノンキー・カフェ

中国料理東洋

ヤマザキ屋洋品店

イタリアンレストランKIDS

あさひや

地図上のスタンプマークのところへ行ってスタンプを押してみよう！